
NEWS RELEASE (2026 年 8 月 20 日) 取材依頼

独立行政法人国際協力機構（JICA）と国立大学法人鹿児島大学との

JICA 海外協力隊連携派遣覚書締結に係る署名式

ーJICA 海外協力隊連携派遣プログラム始動ー

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しまして、大変お世話になります。このたび開催予定の JICA 海外協力隊連携派遣の覚書の署名式について、取材方よりお願いいたします。

【趣旨】2026 年から始動する JICA 海外協力隊の連携派遣に関し、JICA 九州と鹿児島大学の覚書の署名式を鹿児島大学稲盛記念館において対面で開催いたします。

【日時】2026 年 8 月 25 日(火) 13時15分～13時45分

【場所】鹿児島大学稲盛記念館 3 階

【内容】

13:15-13:16 (1 分) 開会の辞

13:16-13:20 (4 分) 出席者紹介

13:20-13:25 (5 分) 挨拶(井戸 章雄 鹿児島大学長)

13:25-13:30 (5 分) 挨拶(若林 基治 JICA 九州所長)

13:30-13:34 (4 分) JICA 海外協力隊連携派遣に係る覚書の署名、写真撮影

13:34-13:35 (1 分) 閉会の辞

13:35-13:45 (10 分) メディア対応

●JICA 海外協力隊連携派遣について

JICA 海外協力隊連携派遣とは、JICA と連携した海外ボランティア派遣に関心のある団体が、JICA との合意に基づき、その団体から推薦された人材を、JICA 海外協力隊として開発途上国へ派遣する制度です。派遣される隊員を通じ、開発途上国の課題解決に貢献するとともに、隊員の帰国後には、協力隊で得た経験を組織内や地域社会へ広く還元いただく事が狙いです。また、グローバル人材の育成手段として、また、各団体の海外での事業展開推進にも活用できます。昨今では、日本で求められている外国人材の受け入れ、多文化共生、SDGs への対応などの、国内課題解決のためにも協力隊の経験は大変有益です。団体から連携派遣のご提案(活動内容、派遣規模、対象国など)を受け、JICA の方針等に合致し、かつ提案に沿っ

た要請が対象国から提出された場合、提案団体とJICAの間で覚書を締結し、団体からの推薦者を協力隊として派遣いたします。（以上、JICA ホームページより、

<https://www.jica.go.jp/volunteer/relevant/company/cooperation/index.html> ）

●大学等間連携によるウガンダ農村開発と国際協力人材育成事業(仮称)について

今回の覚書の対象は、鹿児島大学を代表機関とし、鹿児島大学を含む6大学と1民間企業*1が共同で、東アフリカに位置するウガンダ共和国で行う事業です。本事業は、ウガンダ共和国のWakiso県を対象として2027年4月から2031年3月まで実施されます。

ウガンダでは、気候変動や土壌劣化によるイネの収量低下に加え、農村における生計向上や栄養・衛生環境の改善が課題となっています。また、国の研究所などで新たに開発された技術が現場の農村に届かない「開発と実装のギャップ」も生じています。そこで本事業では、本年9月に同国で開始する鹿児島大学など本邦7研究機関とウガンダ国立農業研究機構(NARO)による研究プロジェクト(SATREPS:地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)*2での研究成果を地域社会に普及・定着させる「社会実装メカニズム」を構築し、モデル農村の実現を目指します。

具体的には、NARO等を拠点に、農学、開発学や栄養学などを専攻する大学生・大学院生ら(長期約3名・短期約16名(想定))を派遣する計画です。現地での主な活動は以下の5点です。

稲作新品種の評価試験及び栽培管理技術の実証・普及

農家への栽培技術指導や営農研修の実施

農家グループや協同組合等の組織化支援

生計向上に向けた農業経営・収入向上活動の実施

栄養教育、食生活改善指導及び衛生啓発活動の実施

本事業を通じて現地農村の生計向上と栄養環境の改善を実現するとともに、現場での課題解決力を備えた国際協力人材を育成します。帰国後は、大学での研究成果の共有やキャリア形成に加え、多文化共生や日本の地域農業への還元を図ります。派遣される学生にとっては、生活環境も厳しいアフリカでの協力隊員としての試行錯誤の経験が、現地の課題解決に資するだけでなく、わが国の諸課題解決にも生かされるものと期待しています。

なお、2026年9月4日には、ウガンダ国立資源作物研究所(NaCRRI)において、井戸学長及び坂上教授を始め関係者を集め、SATREPS事業のキックオフイベントを開催する運びです。

*1) 鹿児島大学、佐賀大学、島根大学、東京農工大学、山形大学、東北大学、
グリーン株式会社

*2) https://www.jst.go.jp/global/kadai/r0707_uganda.html

●出席者

【鹿児島大学】井戸 章雄（学長）、坂上 潤一（農学部 教授）

【JICA】若林 基治（JICA 九州 所長）

【問い合わせ先】

◆内容に関すること

鹿児島大学農学部農学科植物資源科学プログラム熱帯作物学研究室(TEL:099-285-8543)

E-mail:sakagami@agri.kagoshima-u.ac.jp(担当:坂上)

※ニュースリリースは鹿児島大学ホームページからもご確認できます。(解禁日以降に随時掲載)

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/pr-info.html>

【トップページ＞大学紹介＞広報＞ニュースリリース・報道・広告】